

氷川町ふれあいネットワーク

社協だより

令和6年1月1日

第110号

—発行—
社会福祉法人
氷川町社会福祉協議会



今月の表紙 12月3日（日）に開催しました氷川町福祉大会の展示ブースです。

協力事業所：氷川学園さま、八代乳児院さま、デイサービス氷川、氷川町共同募金委員会

第110号の主な内容（目次）

- p1…表紙
- p2…会長年頭挨拶
- p3…氷川町福祉大会
- p4…友愛訪問・ひとり暮らし高齢者交流会（バスハイク）
火の国ボランティアフェスティバル人吉球磨
- p5…善意のご紹介
第7回オータム・フェスin氷川
- p6…災害時高齢者生活支援等講習の実施について
赤い羽根共同募金報告



 この社協だよりは、共同募金の配分を受けて発行しました。

地域共生社会の実現に向けて



氷川町社会福祉協議会

会長 藤本 一臣

明けまして

おめでとございます

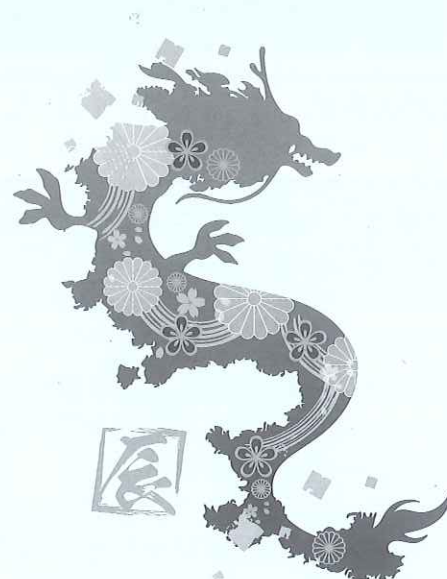
皆様には、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より社会福祉協議会の運営につきましてご理解とご支援を賜り、円滑な事業の推進が図られておりますことに對し、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年の社会福祉協議会の事業を振り返りますと新型コロナウイルス感染症法が二類から五類に移行されましたことを受けまして、令和二年から休止してい

ました様々な地域福祉事業に取り組むことができました。なかでも高齢者交流会、障がい者交流会、母子父子家庭の交流会を実施することができましたことは大変喜ばしく思います。また、十二月には四年ぶりの福祉大会を開催しましたところ子供から高齢者まで多くの町民の皆様のご参加を頂くことができました。素晴らしい大会となりました。

さて、地域福祉を取り巻く環境の変化が急速に進んでいます。社会福祉の各分野でのサービスの需要が高まる一方、少子化の進行などによる労働人口の減少に伴い担い手となる福祉人材の確保は厳しさを増しています。また、要介護者の増加、ヤングケアラーなどの福祉課題が急務となつてきています。さらに、令和六年には、医療・介護の同時改定でもある年となりますが、デイサービス、居宅介護、包括支援センターのサービスの充実が図れるよう利用者や相談者に寄り添う気持ちをもつてこれまでの経験と知恵と工夫を生かして支援に取り組んでまいります。



社会には、さまざまな状況や状態にある人々がいますが「共生社会」は、さまざまな人々が、すべて分け隔てなく暮らしていくことのできる社会です。障がいがある人もない人も子供から高齢者まで支える人と支えを受ける人に分かれることなく共に支え合うことができる地域を創る地域共生社会の実現を推進してまいります。氷川町社会福祉協議会は、「いつでも どこでも 誰でも生き生きと暮らせる福祉の郷(まち)」を目指して福祉関係者の皆様方と協議しながら福祉課題に取り組んでまいりますのでご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が、皆様方にとりまして幸多き年となりますようにご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

氷川町福祉大会

令和5年12月3日(日)氷川町文化センター講堂におきまして、令和5年度氷川町福祉大会を開催しました。

月乃輪保育園年長児によるオープニング、和太鼓演奏で幕開け、式典では、長年に亘り社会福祉事業の向上発展に尽力された方への表彰状贈呈の伝達等が行われました。

活動発表では、氷川町ボランティア活動推進協議会の会員でもあり、永年地域でボランティアマジックショーの活動に尽力されている小松又男様から「私のボランティア活動の動機と実践」の活動発表が行われました。講演会では村上美香様(元KKTアナウンサー)をお招きし、「誰もが生きやすい

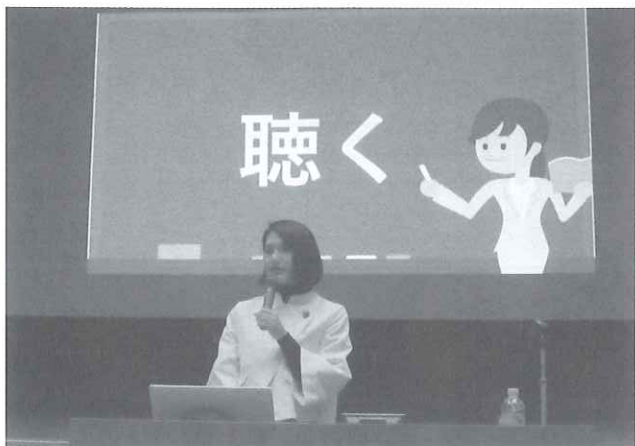
社会・命を大切にする社会とは」と題し、講演を行いました。アナウンサー等で培われた経験を基にコミュニケーション力アップ、またライフワークとして取り組んでいるがん教育など、報道だけでは伝わらない生の声をお話いただく他、地域で見守る上での姿勢の在り方を講話いただき、あらためて地域福祉を考える素晴らしい講演となりました。



オープニングアトラクションの和太鼓(月乃輪保育園)



ボランティア活動発表(小松又男氏)



講演(村上美香氏)

令和5年度福祉功労者表彰



橋本様

1 地区サロン会

10年以上継続して開催し、その開催回数が120回に達した地区サロン会

- 東上宮サロン会 橋本 彌生 様
- 西上宮サロン会 谷本 一博 様
- 町サロン会 中川 昭 様
- 若洲サロン会 緒方 英雄 様

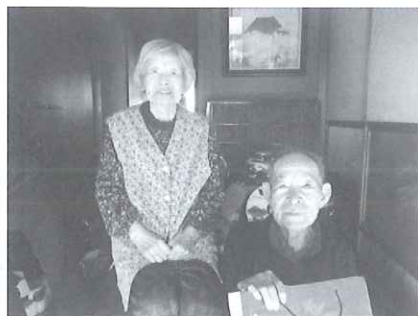
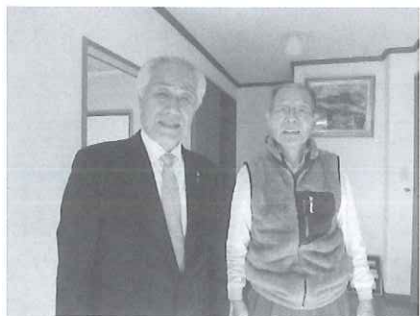
2 ボランティア団体

ボランティア活動(福祉分野の活動に限る)をしており個人及び団体で、10年以上活動しているもの

- 鹿島防犯パトロール隊 吉見 和晃 様
(鹿島地区内見守り、防犯推進活動されている団体です)

令和5年度 友愛訪問並びに寝たきり者(児)の見舞い

令和5年12月13日(水)、氷川町民生委員児童委員協議会の協力のもと、氷川町内にお住まいの95歳以上の高齢者の皆さま及び寝たきり者(児)の方のお見舞いを致しました。感染症予防の為玄関先での対応となりましたが、皆さまの朗らかな姿を拝見できました。これからも末永く元気にお暮しいただきたいと願っております。



ひとり暮らし高齢者交流会(バスハイク)を行いました。

去る11月7日(火)、町内のひとり暮らし高齢者を対象とした交流会(バスハイク)を4年ぶりに開催し、60名が参加されました。今年度は人吉方面に出かけ、国宝指定の青井阿蘇神社、幽霊の掛け軸があることで有名な永国寺を参拝。その後は人吉温泉華の荘にて懐石料理に舌鼓を打ち、それぞれに温泉やお買物を楽しみました。午後は白岳伝承蔵に立ち寄り、焼酎の製造工程を展示してあるミュージアムを見学し、気になる焼酎の試飲を楽しまれていました。

当日は天候にも恵まれ、絶好の行楽日和。参加者の皆様からは、久々に友人らと羽をのばせましたとの感想や来年の交流を楽しみに日々の生活を頑張りたいとの声をいただきました。



第14回火の国ボランティアフェスティバル人吉球磨

去る11月25日(土)、氷川町ボランティア活動推進協議会の土肥会長はじめ会員17名で、人吉市スポーツパレスで開催された第14回火の国ボランティアフェスティバル人吉球磨に参加されました。

令和2年7月の豪雨災害から3年以上が過ぎましたが、まだ復興の途上にあり、「球磨川の流れが繋ぐボランティアの絆と復興への希望の輪」をテーマに記念講演・活動発表、ボランティアアトラクション等を執り行われました。

参加者の皆様からは、ボランティアについて学ぶ事が多い一日だったとの声が聞かれました。人と人の繋がり、後世にどう引き継いでいくかなど、大変参考になる有意義な研修会でした。



善意のご紹介

次の方々から社会福祉事業に役立てて下さいと、ご寄付を頂きました。故人のご冥福をお祈りし厚くお礼申し上げます。ご寄付頂いた浄財は、本町の福祉事業に活用させていただきます。(敬称略・受付順)

氷川町社会福祉協議会／香典返し(令和5年10月23日～令和5年12月19日)

地区名	寄 付 者	故 人	地区名	寄 付 者	故 人
立 石	田中 孝典	田中 鈴子	吉 本	藤田 英二	藤田イツエ
中大野	高野 葉子	高野 毅	町	中川 昭	中川 規
今	田中眞知子	田中 哲男	桜ヶ丘	田口 芳子	田口 義隆
新 田	太田 賢治	太田カズ子	高 塚	西村 恵子	池田 正
高野道	藤本 勇喜	藤本ミツコ	法道寺	上野 裕子	上野 睦男
立 石	岩村 浩一	岩村 保	若 洲	津志田照子	津志田良晴
南鹿野	林 司	林 シヅカ	柳の江	久保ヒサ子	久保 重義
東網道	北村 広之	北村五月子	若 洲	野尻 孝子	野尻 久男
北 川	塚本 和哉	塚本 昭憲	東上宮	坂田 浩子	坂田 利光
北鹿野	櫛本貴美子	櫛本 淳一	高野道	野村 敏明	野村ハス工
南鹿野	磯崎 国弘	磯崎絵里加	新 村	國岡 玲子	國岡 太
笹 尾	大木田精二	大木田ヨシエ	東網道	稲田美知江	稲田 秀昭
若 洲	坂口 妙子	坂口 誠一	高 塚	滝本 博由	滝本 藤市

チャリティーコンサートの義援金をお預かりしました。

令和5年11月26日(日)に氷川町竜北体育センターにおきまして、音楽フェス実行委員会主催によるチャリティーコンサート第7回オータム・フェスin氷川が開催されました。

今回のコンサートも主催者のチャリティー募金を全額日本赤十字社に役立てたいとの思いに賛同された出演者の方々が県内各地から10組参加していただくことができました。今年は、氷川町内の小学生や中学生の参加もあり会場内は暖かい雰囲気にも包まれ来場者の皆様も大変喜ばれていました。このオータム・フェスには氷川町社会福祉協議会も協賛して氷川町共同募金委員会の資材等の販売を行いたくさんの皆様から募金を頂くことができました。

日本赤十字社並びに共同募金会にご協力いただきました募金につきましては、氷川町社会福祉協議会をとおして、日本赤十字社熊本県支部、熊本県共同募金会へ送金致しました。

ご協力いただきました出演者、関係各位の皆様方に感謝を申し上げます。

・日本赤十字社募金額 36,902円

・共同募金会募金額 18,297円



災害時高齢者生活支援等講習の実施について

防災三助を学ぶ(自助・共助・公助)

令和5年10月21日(土)鹿島区、11月6日(月)町区において、日本赤十字社熊本県支部のご協力のもと災害時高齢者生活支援講習並びに炊き出し訓練を実施しました。被災した際に開設される避難所においての知識や技術としてタオルケットを使ったガウン作りやホットタオル(おしぼり)作りを学びました。その他、非常包装食袋(ハイゼックス)を使った大鍋での炊飯では氷川町婦人会役員の皆様にご協力いただき、参加者全員で体験しました。

日頃から使っている身近な物で簡易スリッパや簡易ガウンが作れたりと感嘆の声が上がり、参加者の方々の防災意識向上が出来た有意義な講習会となりました。



10月21日 鹿島区



11月6日 町区

令和5年度

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金報告 1,777,773円

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。皆様から寄せられました募金は熊本県共同募金会へ集められ、その一部が福祉施設などに配分されるとともに被災地の支援金や災害等準備金として積み立てられています。また、送金額の約66%が「自分の町を良くするしくみ」として氷川町社会福祉協議会で行う地域福祉活動の事業費として還元されます。今後とも共同募金運動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○戸別募金

氷川町内全39地区のみなさまにご協力いただきました。

○街頭募金

月乃輪保育園の園児の皆さんに道の駅竜北にて街頭募金を実施していただきました。(令和5年10月2日)

○職域募金にご協力いただいた事業所

八祥苑、早尾園、氷川学園
やすらぎ荘、のぞみ、氷川町役場
土地改良区、氷川町職員厚生互助会
常葉保育所、氷川町社協
氷川町民生委員児童委員協議会

○その他の募金にご協力いただいた事業所 他

道の駅竜北、ありさスーパー、かあちゃん市場、であい市場、JAやつしろ竜北町支所
オータム・フェス会場、個人募金(匿名希望)

種 別	件 数	実 績 額 (円)
戸 別 募 金	3,245	1,593,000
街 頭 募 金	1	18,422
職 域 募 金	8	137,750
その他の募金 〔募金箱設置 個人募金 イベント募金〕	7	28,601
合 計	3,261	1,777,773

(令和5年12月8日現在の募金内訳は表のとおりです。)